

賜依侍從所使殿上五位六

〔續修東大寺正倉院文書二十六〕西市庄解 申進上雜物事

生苽參佰陸拾果 直壹佰捌拾文

大七十果別一文 中百五十果一文充二果、小百卅果一文充四果○中

右依今月十日符買取進上如件以解

天平寶字二年八月十二日

布勢足人

〔日本書紀二十二〕二十五年六月出雲國言於神戸郡有瓜大如缶

〔萬葉集五〕思子等歌一首并序○序

宇利波米波胡藤母意母保由久利波米婆麻斯提斯農波由○下

〔小大君集〕ちいさきうりのきなるを、おなじ色のかみにつ、みて、あさみつの少將のがりやるを、

き、たがへて、よりひらにとらせれば、

雲のたつうりふの里のをみなべしくちなし色はくひぞわづらふ

ころときめきして、いひたりしかひなければ、かへしもせで、とりかへして、はじめの人の

がりやるとて、われかとなひひそといひければ、

ありどころこまかにいづらしらうりのつらを尋ねて我ならさなん

左近のきみにものたまへりしかば、われとしられにけりとねたてて、

うりどころこ、にはあらし山城のこまかにしらぬ人なたづねそ

〔今昔物語二十八〕以外術被盜食瓜語第四十

今昔七月許ニ、大和ノ國ヨリ多ノ馬共瓜ヲ負セ列テ、下衆共多ク京ニ上ケルニ、宇治ノ北ニ不成

ヌ柿ノ木ト云フ木アリ、其木ノ下ノ木影ニ、此ノ下衆共皆留リ居テ、瓜ノ籠共ヲモ皆馬ヨリ下シ